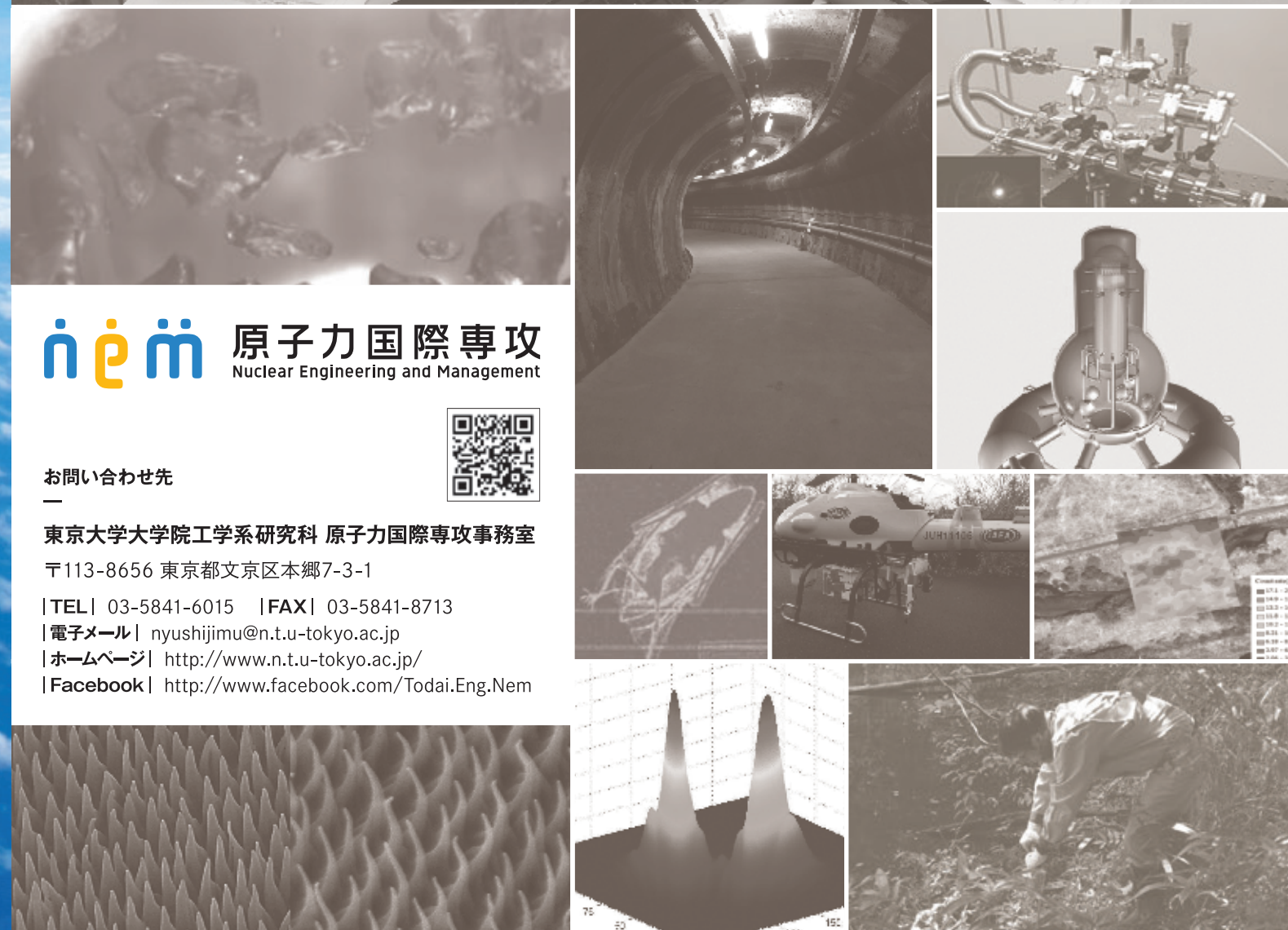


OF NUCLEAR D MANAGEMENT

地球規模の課題に取り組む。



原子力国際専攻
Nuclear Engineering and Management



お問い合わせ先

東京大学大学院工学系研究科 原子力国際専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

TEL 03-5841-6015 FAX 03-5841-8713

電子メール nyushijimu@n.t.u-tokyo.ac.jp

ホームページ <http://www.n.t.u-tokyo.ac.jp/>

Facebook <http://www.facebook.com/Todai.Eng.Nem>

DEPARTMENT OF NUCLEAR ENGINEERING AND MANAGEMENT

SCHOOL OF ENGINEERING
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学 大学院工学系研究科

原子力国際専攻

| 専攻案内パンフレット |

DEPARTMENT ENGINEERING AN 原子力国際専攻



原子力国際専攻での充実した学生生活

吉原 有里 | YOSHIHARA Yuri
 2019年3月博士課程修了

学部生のころに放射線計測に関する卒業研究に取り組み、さらに追求したいという思いから原子力国際専攻の修士・博士課程に入學しました。原子力国際専攻ではすべての講義が英語で行われるため、英語でのコミュニケーション能力を高めることができました。留学生や様々なバックグラウンドの学生との交流を通じて文化や考え方の多様性を理解することができるようになりました。研究面では、放射線計測で世界屈指の研究業績をあげている高橋研究室に所属しました。指導教員から挑戦的な研究テーマを与えられ、福島第一原子力発電所の事故で飛散した放射性セシウムの分布を可視化するガンマ線イメージング技術の研究に取り組みました。研究室の学生たちと切磋琢磨しながら充実した学生生活を送り、最先端の技術に関する深い知識を習得することができました。世界に通用する専門知識を身につけたらいいと思い、博士課程に進学することになりました。日本学振興会特別研究員(DC1)に採用されたため、博士課程では生活面で経済的支援を受けることで研究に集中することができました。また、博士課程在学中は、リーディング大学院(GSDM)の長期海外渡航支援を受けて、半年間カリフォルニア州立バークレー校・ローレンス国立研究所で研究する機会を得ることができました。海外留学の経験を通じて視野が広がりが研究者として成長する糧が得られたと思います。原子力国際専攻での5年間の学生生活を振り返ると、たくさんの人との出会いを通じて知識や経験を体得できた非常に素晴らしい時間だったと感じています。就職からは希望する、学生時代に培った専門知識を活かすことのできる民間企業の研究職に就くことができました。これからは色々な人々と協力しながら仕事を進めていくことになると思いますが、原子力国際専攻で身につけた経験を生かし、放射線計測技術の開発を通して社会に貢献していきたいと思っています。